



<報道関係各位>

海外旅行なら世界最大の総合オンライン旅行会社 エクスペディア

エクスペディアが日本の地方都市を強化

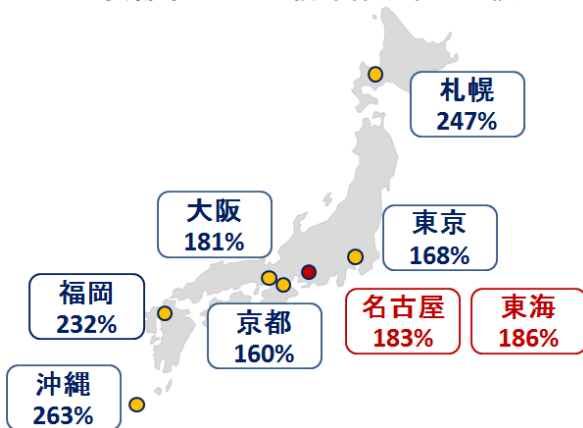
外資系オンライン旅行会社初の名古屋支社を開設

LCC国際線の中部国際空港就航によるインバウンド増加に期待

世界最大の総合オンライン旅行会社エクスペディア(www.expedia.co.jp)では、外資系オンライン旅行会社として初めて名古屋に支社をオープンし、10月より本格稼働いたします。これに伴い、2015年1月-9月のインバウンド状況について調査しました。

今後大きな成長が見込まれる名古屋のインバウンド

<主要都市における前年伸び率の比較>



外国人旅行客からの日本人気は衰えません。2015年1月-9月におけるエクスペディアでのインバウンド伸び率をみると、187%増加。またアジアだけに絞ると、円安やLCCの増便が要因となり、233%増加しています。

そのなかでも、エクスペディアにおける「日本主要都市の2015年1月-9月の前年伸び率(※1)」を見てみると、名古屋は前年比183%、東海地方は前年比186%と高い伸び率を記録し、日本の中心都市である東京よりも伸び率が上回っております。

エクスペディアでは名古屋のインバウンドに今後大きな成長を見込んでおり、外資系オンライン旅行会社としては初となる名古屋支社をオープンいたしました。

※1 2015年1月～9月と2014年1月～9月の予約件数を比較したデータ

エクスペディアが東海へのインバウンドを強化する理由

エクスペディアは下記3点を理由に、東海地区へのインバウンドを強化していきます。

① 中部国際空港におけるエアラインの就航

エアアジア・ジャパンは2016年春就航に向けて中部国際空港を拠点空港とし、名古屋と札幌、仙台、台湾・台北を結ぶ3路線を開設することを決定しました。さらに、ジェットスターも名古屋と台北(桃園)を結ぶ路線を就航し、12月24日から毎日運行することを決定しています。LCC国際線の増加により東海地方のインバウンドは今後伸びることが予想されています。

② 「日本の中心」というアクセスの良さ

名古屋は東京、京都、大阪といった主要観光地点の中心にあります。JR6社が提供している「ジャパンレールパス」を利用すればどこにでもお得・簡単にアクセス可能です。更に、中部運輸局が推進する「昇龍道プロジェクト」が今後訪日外国人に広まっていくであろうことも、名古屋を強化する大きな理由となっています。

③ 「宿泊単価」の低さと成長余地のある「稼働率」

東京都と大阪の1泊の平均料金(※2)がそれぞれ17,430円と15,350円のところ、名古屋は11,810円と、名古屋の宿泊施設の単価はまだ低いことがわかります。

更に稼働率も東京が82%、大阪が81%であるところ、名古屋は67%と余裕があるため(※3) 今後も成長が見込めます。

※2 エクスペディアにおける、2012年から2015年の1月～8月末までの1泊平均料金
※3 2012年から2015年の、1月～3月末までのデータ(観光庁HPより)

エクスペディアの東海における今後の目標

① 2016年度の名古屋におけるエクスペディア経由の予約件数を、昨年対比2倍にする

② 2016年度の東海におけるエクスペディア経由の予約件数を、昨年対比3倍にする

上記目標にあたり、名古屋ではカプセルホテルや旅館、ゲストハウス等、「ホテル」以外の形態の宿を増やし、その他東海地域の下呂、高山、奥飛騨、静岡市、沼津、伊豆・熱海を中心に、新規施設を獲得していきます。

アジア各国の中で、主要都市が多数人気ランキングに

アジア各国の「海外旅行 人気の都市ランキング」を見てみると、東京や大阪、沖縄などの日本の主要都市が多数ランクインしています。名古屋に注目してみると、香港において15位のみと、大阪や福岡と比較すると人気は低いです。エクスペディアでのインバウンドの伸び率を見てみると、今後名古屋への注目度は高まることが見込まれます。

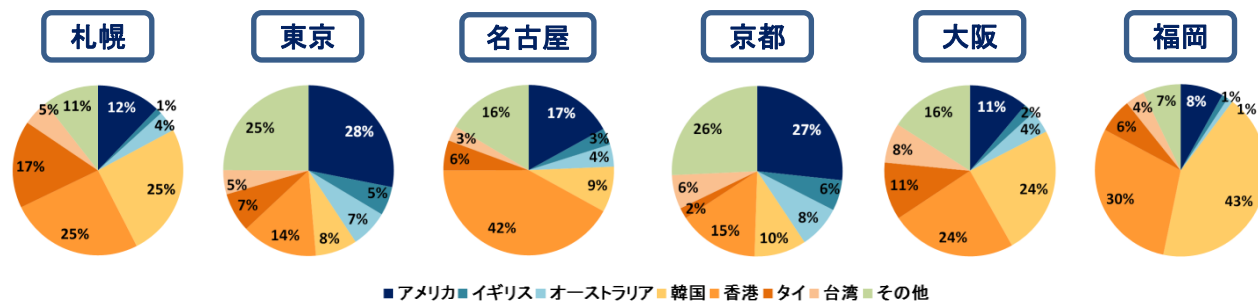
各国のエクスペディアで比較！ 2015年上半期 海外旅行 人気の都市ランキング				
順位	韓国	台湾	香港	タイ
1	大阪	沖縄	台北	東京
2	香港	大阪	大阪	大阪
3	沖縄	東京	東京	シンガポール
4	東京	香港	沖縄	香港
5	バンコク	バンコク	バンコク	札幌
6	台北	京都	マカオ	ソウル
7	福岡	パリ	ソウル	クアラルンプール
8	グアム	シンガポール	シンガポール	小樽/富良野
9	シンガポール	ソウル	台中	シエムリアップ
10	パリ	マカオ	高雄	福岡
11	ラスベガス	チェンマイ	京都	京都
12	セブ島	ロサンゼルス	ブーケット	台北
13	ポロカイ島	上海	ロンドン	パリ
14	オアフ島	福岡	福岡	ロンドン
15	ロンドン	パリ	名古屋	ラオス

2015年上半期 日本の人気都市ランキング	
順位	都市
1	東京
2	大阪
3	京都
4	沖縄
5	福岡
6	札幌
7	名古屋
8	成田
9	広島
10	神戸

2015年1月～6月の予約件数に基づいたデータ

地方都市 札幌や福岡と比べた名古屋におけるアジアからの注目度

主要都市における訪問客の構成

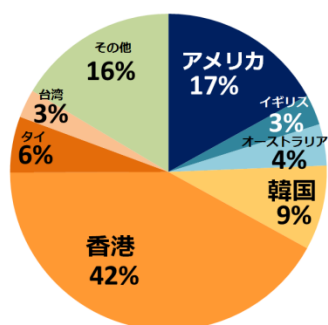


2015年1月～9月の予約件数に基づいたデータ

上記の「主要都市における訪問客の構成」を比較してみると、アジア人の割合に差があることがわかります。韓国、香港、タイ、台湾というアジアの主要地域が占める構成比を見てみると、札幌の訪問客の72%、福岡の訪問客の83%をアジア人が占めています。名古屋はまだ60%とアジアからの注目度が低いことがわかります。これはアジアにおいて影響力の大きいLCCの便数が名古屋ではまだ少ないことが要因の一つと考えられるため、今後のLCC就航により市場が成長していくことが予想されます。

名古屋が最も好きな訪日外国人は「香港人」で全体の約4割！

【名古屋】訪問客の構成

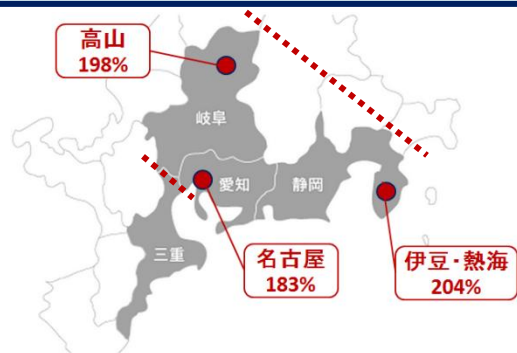


名古屋に来ている訪日外国人を国別で比較してみると香港からの旅行者が半数に近い42%も占めていることがわかります。

また、名古屋における訪日香港人の2014年1月～9月と2015年1月～9月の予約件数を比べてみると、572%と急激に伸びており、香港における名古屋への注目度が高いことが伺えます。2014年9月に香港エクスプレス航空が名古屋-香港線を就航したことが要因の一つであり、今後エアアジアやジェットスターが新たに名古屋と台湾・台北を結ぶ線の就航を予定していることから、台湾からの訪日が増え、アジアからの注目度が伸びることが予想されます。

2015年1月～9月の予約件数に基づいたデータ

エクスペディア名古屋支社の管轄範囲と強化エリア



エクスペディア名古屋支社の管轄範囲は愛知、静岡、岐阜の3県となっております。また、静岡に位置する伊豆・熱海の前年伸び率は204%、岐阜に位置する高山は198%と、需要が上がっています。名古屋と合わせて強化していきたい地域と考えています。

2015年1月～9月と2014年1月～9月の予約件数を比較したデータ

訪日外国人から見た、名古屋と高山で人気のホテルはともにビジネスホテル！

東海の中でも、訪日外国人が多い名古屋と高山において、人気のホテルランキングを調べました。

Expedia.co.jp ＜訪日外国人＞人気ホテルランキング 名古屋編	
順位	ホテル名
1	ホテルマイステイズ 名古屋栄
2	名古屋駅前モンブランホテル
3	ベストウェスタン ホテル 名古屋
4	ホテルトラスティ名古屋栄
5	ホテルウィングインターナショナル名古屋

Expedia.co.jp ＜訪日外国人＞人気ホテルランキング 高山編	
順位	ホテル名
1	カントリーホテル高山
2	飛騨 花里の湯 高山桜庵
3	飛騨高山ワシントンホテルプラザ
4	旅館あすなる
5	湯之島館

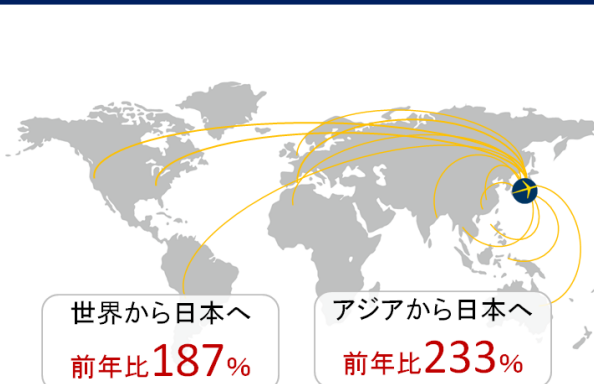
名古屋で1位の【ホテルマイステイズ 名古屋栄】は名古屋の中心に位置する繁華街、栄駅から徒歩7分のビジネスホテルであり、ナゴヤドームや名古屋城、名古屋市内の観光には便利となる立地の良さやリーズナブルな価格が評価されています。また、飛騨高山温泉が有名な高山では旅館が多くランクインしているなか、こちらも【カントリーホテル高山】というビジネスホテルが1位にランクインする結果となりました。

昨今、世界からは日本のビジネスホテルが注目されており、先日エクスペディアにおいて世界3万都市にあるホテルの中から世界中の利用者の声をもとに調査した「世界ベストホテルランキング(※4)」においても、5位に日本のビジネスホテル【ドリーミン札幌ANNEX】がランクインし注目を浴びました。立地の良さやコストパフォーマンスを重視して考える訪日外国人にとって、リーズナブルな価格で質の良いサービスを受けられる日本のビジネスホテルは魅力的であると考えられるようです。

(※4)世界ベストホテルランキングとは？

世界最大のオンライン総合旅行会社であるエクスペディアが、毎年グローバルで実施しているホテルランキング。世界3万都市のホテルを対象に、200万人以上のユーザー評価を元に決定。コストパフォーマンスの高さやアメニティの質、顧客対応の良さ等が加味されています。

2015年1月-9月、エクスペディア経由の訪日は昨年対比で約2倍増！



日本人気は勢いが止まりません。2015年上半期におけるエクスペディアでのインバウンド伸び率をみると、世界から日本への旅行客は187%と約2倍増加しています。

更にアジアだけに絞ると、日本へ旅行客は233%と増加しています。その要因としては、主に以下3点があります。

アジア観光客の増加要因		
①円安	②LCCの増便	③地方の訪日施策強化

円安により日本への旅行が金銭的に行きやすくなり、更にLCCの増便で各都市へのアクセスが良くなりました。これに合わせて、各都市で様々なインバウンド施策を打ち出していることから、地方の認知もあがってきています。

2015年1月～9月と2014年1月～9月の予約件数を比較したデータ

エクスペディア概要

世界 31カ国で展開する世界最大の総合旅行サイト Expedia の日本語サイト、エクスペディア・ジャパン (www.expedia.co.jp) は、日本語による 詳細な紹介文や施設の動画などを参考に比較検討し、リアルタイムに日本円で予約・決済することが可能な旅行予約サイトです。エクスペディア・ジャパンでは、単なるコンテンツの日本語化にとどまらず、日本人向けの独自のインターフェースデザインの採用や、JCB・Visa・Master・AMEX などの主要なクレジットカードによる決済、日本語による電話サポート(24 時間年中無休)など、日本の旅行者の皆様が安心して使える環境も整備しています。

Twitterアカウントとフェイスブックページでお得なホテルやツアー情報をタイムリーに発信しております。

- Twitter: <http://twitter.com/Expedia Japan>
- Facebook: <http://www.facebook.com/ExpediaJapan>

※Expedia およびエクスペディアのロゴは、米国 Expedia, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。その他の商品名、製品名、会社名などは、一般に各社の商標または登録商標です。

【さらにお得な特典も！】業界初！世界のホテルによるVIP待遇プログラム「Expedia+」

エクスペディア独自のメンバープログラムで、「ポイントプログラム」と「ステータスプログラム」の2つの側面から「値段 + α の付加価値」を提供します。

- ポイントプログラム:ポイントに応じて予約時に使用できるクーポン等を発行します。
- ステータスプログラム:ブルー、シルバー、ゴールドのランクに応じて様々なサービスが受けられます。

(例)+VIP Access 提携ホテル特典、会員限定のお得なプロモーション、予約でボーナスポイントを獲得 (+ゴールド は 30%、+シルバー は 10%)、優先カスタマーサービス、Expedia Local Expertコンシェルジュ限定の特典

- +VIP Access 提携ホテル:
Expedia+ 会員に厳選した特典を提供するホテルです。ポイント面でのメリットだけではなく、朝食、ワインやスパが無料になったり、客室がアップグレードされたりと、VIP待遇を受けられます。
- +VIP Access 提携ホテルのサービス例:



無料シャンパンボトル



無料スパ



無料フルーツバスケット



無料ミニバー

【参考】業界初！世界のホテルによる+VIPサービス

エクスペディアを含む日本の大手旅行代理店の殆どがポイントサービスを提供しています。その中で、ステータスプログラムとして、ステータスごとにポイント還元率やポイントでの自社負担の優遇が分かれているのは3社。さらに深堀りし、自社負担のポイントサービスだけでなく、世界中のホテルと共同でVIPサービスを提供しているのは、エクスペディアのみという事がわかります。

	大手旅行会社比較 (海外旅行)			
	ポイントプログラム	ステータスプログラム	サービスの内容	
			ポイント優遇	ホテルによるVIPサービス
Expedia	○	○	○	○
A社	○	○	○	×
B社	○	○	○	×
C社	○	×	—	—
D社	○	×	—	—